

1. 件 名 :

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構核燃料サイクル工学研究所の総合防災訓練実施結果報告書(案)の概要説明について

2. 日 時 :

令和2年10月22日(木) 10時00分～11時30分

3. 場 所 :

茨城県原子力オフサイトセンター 原子力防災専門官事務室

4. 出席者 :

原子力規制庁東海・大洗原子力規制事務所

関谷原子力防災専門官、宮下上席放射線防災専門官

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構核燃料サイクル工学研究所(以下、核サ研という。)

技術主幹、技術副主幹他1名

5. 要 旨

核サ研より、令和2年9月8日(火)午後に実施された、総合防災訓練実施結果報告書(案)の説明を受けた。

訓練は、地震の発生を起因として、核燃料物質使用施設と再処理施設の2施設において、敷地緊急事態及び全面緊急事態に進展する原子力災害を想定し、これに対する実効的な対応能力向上を目的として実施された。

昨年の総合防災訓練での反省事項に関して、有効な改善策を案出し、事前に教育や個別訓練を行い、本年度の総合防災訓練において、防災組織が有効に機能し、円滑に活動が行われたことが確認された。

特に、原子力規制庁、機構本部及び現地対策本部の3箇所をつないで開設されたTV会議において、各部署が積極的に情報報告をするとともに、他部署からの情報報告を促すような発言が行われる等、優れた取り組みが実施された。

6. その他

配付資料なし